

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol. 24 Autumn 2012



海上の森も実りの秋を終え、いよいよ冬がやってきます。

写真：カキ（左）サネカズラ（中央）ヤブムラサキ（右）

特集 海上の森はいま

第6回人と自然の共生国際フォーラムを開催しました 企業連携覚書を締結しました

この人！「自然の叡智 海上の森」

あいち海上の森大学同窓会会長 魚住俊文さん

情報ライブラリー図書を紹介します

田んぼで出会う花・虫・鳥-農のある風景と生き物たちのフォトミュージアム-

田んぼには、さまざまな生き物が住んでいます。カエル、シギ、カメムシ、トンボ、ホタル、ガン、さらには、可憐な花を咲かせる植物たち……。本書はそんな四季折々の命の営みを、百姓仕事からの視点で美しいカラー写真で紹介しています。

みなさんは、田んぼでどんな生き物を見たことがありますか？今、改めて田んぼで発見したいことはなんですか？田んぼのどんなことを分かってくれる人が増えたら嬉しいですか？貴重な風景とともに田んぼの魅力の詰まった一冊となっています。

久野公啓 著 築地書館



特集 海上の森はいま

第6回人と自然の共生国際フォーラムを開催しました

あいち海上の森センターが事務局を務め、2007年から毎年開催している「人と自然の共生国際フォーラム」。今年は、「持続可能な社会を目指して、理念から行動へ、今変わる時～今を、明日を、語る・描く・奏でる～」をテーマに、10月13日（土）に愛・地球博記念公園内の地球市民交流センターで開催しました。

今年は、4月から5月の間に、前回（第5回）のフォーラム宣言の内容にそって活動する事業を募集し、応募があった22件のうち、審査によって選ばれた9事業の活動団体を発表者として、午前中に「アクション・プレゼンテーション」と題して活動発表会を行いました。独創的な発想を活かしたものや、学生たちの若いパワーにあふれたものなど、魅力的な事業の数々が紹介され、参加者の強い関心を引いていました。



多目的室や体育館、広場では、発表9団体を含む計40団体が体験ブースやポスター展示を展開し、幅広い世代の方々が関心を持つ

て、楽しみながら、自然とのふれあいや、持続可能な社会の大切さを学んでいました。

午後の特別講演は、「ポスト311・ローカルで懐かしい未来へ～若い世代にできること～」と題して、NHK専任ディレクターの窪田栄一氏に講演いただきました。

続くパネルディスカッションでは、コーディネーターに京都大学の川井秀一氏、コメンテーター

企業連携覚書を締結しました

平成24年10月25日に、企業連携9社目となる覚書をカルビー株式会社と締結しました。

当日は、海上の森の概要や森林整備について学んだ後、現地活動場所の見学をしました。

「Calbee～美しい自然を未来へつなげよう～」と銘打ち、人工林の間伐や、森林の働きについて学び活動していく予定です。



ターに当センター名誉センター長のマリ クリスティーヌ氏、パネリストに愛知県立大学の稲村哲也氏、タレントでエシカル・ペネロー



プ榎原田さとみ氏、(株)伊藤園の笹谷秀光氏、そして午前の発表団体の代表としておむすび通貨の吉田大氏を迎え、様々な立場から事例紹介および議論をしていただきました。また、参加者にネパール音楽の演奏と踊りを楽しんでいた間、パネルディスカッションの出演者がフォーラム宣言の案をまとめ、参加者全員の拍手による賛同により、採択されました。

今回の内容は今後ホームページにも掲載しますので、ぜひそちらもご覧ください。

<http://www.mu-academy.jp/forum/>

第6回人と自然の共生国際フォーラム
フォーラム宣言

私たちは、これまで開催したフォーラムで、里山が人と自然をつなぎ、地域づくりの場として重要であること、また自然を持続的に利用する生き方の大切さを学んできた。

昨年3月の東日本大震災からの復興が遅々として進まない現状を鑑みると、議論を積み重ねていくことが重要である一方、先人の知恵に学び、新たな社会の構築に向けて、いま私たちにできることから行動を起こしていくことの大切さを再確認した。

このフォーラムでは持続可能な社会を目指して、どのように行動すべきかを議論した結果、以下の宣言を行う。

- ① グローバル化した市場経済依存の社会より、地域の文化や持続性優先の経済を基盤にする「ふるさと」へと移行することの重要性を認識する。
- ② 市民活動を活性化し持続させるために、愛・地球博、生物多様性条約に関わる COP10 での実践活動を活かし、グローバルな視点で今後も様々な取り組みを行う。
- ③ 多様な自然、いきもの、人とのつながりを尊重し、フェアトレードの根底にある調和と共生の価値観や暮らし方を考え、行動する。
- ④ 市民、企業、及び NPO が手を携え協働して、「森づくり」や農村から都市にいたるそれぞれのコミュニティを結ぶ「地域連帯」、また「循環型社会に向けた取り組み」について対話と実践を進め、里山の維持保全と共に相互の活性化に努める。

今後これらを広く発信し、社会や暮らしを見直す決意を育みながら、自ら具体的に行動していくことを約束する。

平成24年10月13日

人と自然の共生国際フォーラム参加者一同



この人!

「自然の叡智 海上の森」

あいち海上の森大学同窓会会長 魚住 俊文さん

私が本格的に海上の森との関わりを持つきっかけになったのは、平成21年あいち海上の森大学の3期生として入学したことでした。私が選択した「森林・里山環境教育コース」は海上の森を深く知るための講義や野外実習など様々な視点から学習できる良い機会となりました。

また、卒業を機に、引き続き勉強できる場として大学同窓会に入会しました。

同窓会には第1期生からの先輩諸氏がおられ、総会での意見発表を聴いたり、私も発表した経験があります。シデコブシの生態や間伐材の有効利用など、かなり専門的な内容で、興味深く海上の森の姿を知る機会となっています。

私は自然風景写真を撮りますが、身近に「自然の叡智」を感じるここ海上の森はすばらしい場所です。森の中に一步入ると、空気はひんやりと清々しさを感じます。川には清流が流れ、空を見上げれば、オオルリなど野鳥が囀っている。

後の世代のために守りたい、命の恵みにたくさん出会います。

同窓会は、7月7日、あいち自然ネットへの加入を機に他の環境保全団体の方々とも交流できるようになり、賛助活動を通して、地域・市民の皆様と生き物探索などで共感を得ることができました。今後の広がりが期待されます。

また、今年度の取り組みとして、グループミーティングの年4回開催をとおして、会員の相互交流、現役生の招待を行っています。

まだまだ、発展途上ではありますが、大学卒業後の活動の場として、より充実した同窓会活動を目指してゆきたいと思います。

〈プロフィール〉 1960年生まれ。長久手市在住。生涯学習1級インストラクター（風景写真）、竹内敏信の新・風景写真塾研究科（一般会友）在籍 日本リズム写真集団会員 あいち海上の森大学3期生（森林・里山環境教育指導者）



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言!

地名にもロマン

先日中学校の同窓会があり、今こういったところに勤務していると言うと、「海上の森? カイジョウの森? 海の上の森? 比喩か何か? 離島の森の中?」いや、これは<かいしよ>と読む瀬戸市の地名で、センターの意義・仕事内容は…万博の前後にはいまいし人口に膾炙してはいたはずの名称と思うのですが、県・中部圏を出てしまっている人間も多いからなのではないでしょうか? でもおかげで懐かしい顔毎に話のネタになり口下手な私は助かりました。

以前から自身、なぜ海? 由来は? カイジョウではなくカイシヨ? など疑問に感じていました。その昔、海面が現在より高かった縄文海進時には海が迫っていた? 濁音から清音に変移した? …専門家の方に伺ったり、文献を調べれば解決してしまうのかもしれませんが、秋の夜長、脈絡もとりとめもない想像を巡らすのも楽しいものです。(K・K)

森のなかま

アケボノソウ *Swertia bimaculata*

アケボノソウは、リンドウ科センブリ属の植物です。花びらは一枚一枚離れて見えても、花びらの元でくっついて見えます。海上の森では10月頃に花が咲きます。

アケボノソウは図鑑などで1年草、2年草又は越年草と紹介されることがあります。これは、年内にタネが発芽し、ロゼッタ状で冬を越え、夏頃に茎が伸びて、花をつけるまでの期間は1年未満

となるためです。しかし、2年に亘るため2年草、年を越えるため越年草と言われます。

アケボノソウという名前の由来は、花びらに濃い緑色の細かい点があり、この細かい点を夜明けの星空になぞらえて付けられた名前とのこと。小さな花びらの中に宇宙を感じさせる花ということでしょうか。(絵・文 SKI)



海上の森散歩



篠田川沿い林道～篠田砂防池

秋も深まり、紅葉が美しい季節になりました。海上の森の紅葉はウリカエデやタカノツメ、ハゼなど、様々な木々が色づきます。

今回紹介するのは篠田川沿いの黄葉が美しい林道です。背の高い広葉樹が頭上を覆っていますが、道のそばを流れる川のおかげか周囲は明るく、時々排水用の溝が道を横断しています。この辺りは、ハゼやモミジの赤い紅葉が見事です。また、足元を見ると、道上には様々な色の落ち葉が積もり、歩くのも楽しくなってきます。

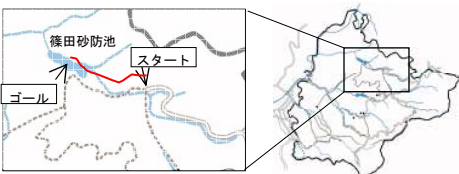


篠田砂防池付近では主にタカノツメの葉が黄色く染まります。また、黄葉が終わった後、地面に落ちた葉からは、キャラメルのようなこ

うばしい香りがします。秋の海上の森に来た際には、ぜひ五感で秋を味わってみてください。

所要時間: 約 20 分(片道)

(海上の森
駐車場～ス
タート地点:
約 45 分)



その他のお知らせ

遊歩施設とウッドデッキの改修

センターの遊歩施設とウッドデッキの改修が完了しました。

遊歩施設では3箇所改修をしました。1つ目はホトケ沢沿いの沢道で、飛石を設置し、湧水で常に湿っている場所が歩き易くなりました。2つ目は遊歩施設のセンター側入口で、橋の付け替えを行い、県産の杉材を使った趣のある門に生まれ変わりました。3つ目はその門からセンター本館に向かう階段で、老朽化して危険な状態になっていたため、巾を広げて設置しなおしました。



沢道 (改修後)



遊歩施設入口 (改修後)

ウッドデッキは自然塗料(オスモオイル)を使って塗

り替えを行い、小さなお子さんが寝ころんだりお弁当を食べたりしても安心してご利用いただけます。改修によってより快適になったセンターの遊歩施設とウッドデッキをぜひご利用ください。



ウッドデッキの様子

また、工事期間中にご利用いただいた方には、ご不便をおかけする事もあったかもしれませんが、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

参加者募集



イベント名	開催日	定員	募集期間
森の教室 一森の恵みを活用しよう 「木材、竹、ツルなどを使った工作」一	12/9 (日)	30名	10/9 - 11/29
対象: 小学生以上、小学生は保護者同伴 《応募方法》 官製はがき、FAX または E-mail に ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し(応募者の住所等が異なる場合は全員分)、申込期限(当日消印有効)までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。 《申込先》 NPO 法人 海上の森の会 (〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局 TEL/FAX: 0561-21-9298 E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)			
編集後記 すっかり寒くなり、森の中ではじっとしていると手がかじかむようになりました。これからの季節、海上の森では、企業連携による間伐が多く行われます。多くの人が係ってくれていることを、嬉しく思います。	編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー) 発行日 平成 24 年 11 月 22 日 〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp URL: http://www.pref.aichi.jp/kaisho/ Twitter: http://twitter.com/kaisho_center		

